



羅針盤 R7(2025)-No.4 チーム玉小のチームビルダー



学校は失敗するところ！ 教室は間違えるところ！ 授業は子供が主人公！
誰一人取り残さない！ 子供の成長を教育活動の、ど真ん中におく！
One for all. All for one. One team. チーム玉川小

令和 7年 4月 4日(金)
昭島市立玉川小学校
校長 小瀬 和彦

I Vision Mission Passion

1 ビジョン Vision

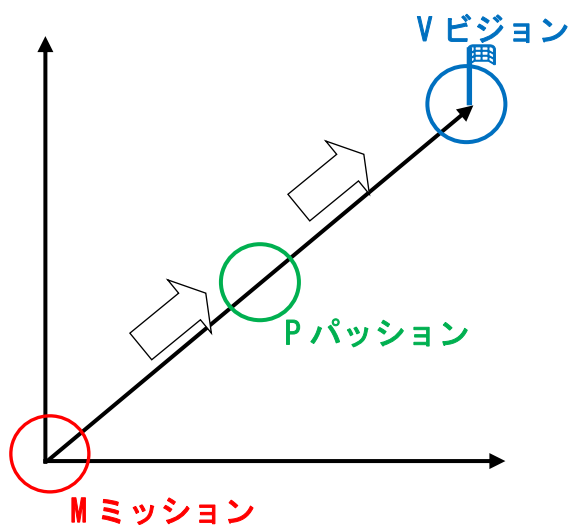
「日本人としてのアイデンティティをもちながら、異なる言語・文化・価値を乗り越えて関係を構築するためのコミュニケーション能力、課題に対し協働して問題解決を図っていく能力、共によりよく生きようとする態度をもった人間」を育成する学校を創っていく。

2 ミッション Mission

「学校は失敗するところ」、「教室は間違えるところ！」、「授業は子どもが主人公！」、「誰一人取り残さない！」を玉小のミッションとし、教育活動を展開していく。
児童一人一人のチャレンジ（挑戦）精神を育成するため、児童にはキャッチフレーズとして意識化を図る。

3 パッション Passion

「子供の成長を教育活動の、ど真ん中におく！」を判断や行為のパッションとして常に意識する。



II 2025 チーム玉小を創る:Group から Team へ！

Group: グループは、同じ空間にいる人々の集団。

Team: メンバー全員が共通の「ビジョン」、「ミッション」、「パッション」をもって切磋琢磨して協力し、役割や責任を分担し相互に補完し合うメンバーから構成される組織の形態。

◎ 主任はリーダーシップを発揮し、各学年会・専科会をグループからチームへと高めていく。（教職員一人一人が主任のつもりで考え・行動する！）

- ☐ 学年会・専科会を定期的に設定し、協議・学び合い・協議解決（学年・学級・専科経営、学習指導・教材研究、生活指導、校務分掌等）の場を設定している。
- ☐ 授業は、各教科等の単元導入前に、学年会・専科会を設定し、基本的な指導方法・内容について共通理解を図った上で実践している。
- ☐ 各教科等の指導計画についてカリキュラム・マネジメント（指導計画の PDCA サイクル化）を行い、ゼロスタートではなく指導書に準じて授業を実施している。（改善した場合は、実施後に朱書きで修正する。）
- ☐ 教室環境等は清潔に保ち、整理整頓を図り、ユニバーサルデザイン（障害の有無、年齢、性別、人種等にかかわらず全ての人が利用しやすいよう教室をデザインする考え方）にし、学年・専科相互にチェックし合っている。